

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 2 単位

対象学年組：第 3 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（明解 歴史総合（帝国 歴総—706））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界がどのようにして成立したのか、日本及び世界の歴史について理解すると共に、史料などの諸等を用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめあげる技能を修得するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】歴史に関する特色等を活用し事象を多面的に考察したり、現代の世界的諸問題の解決方法を構想したりする力や、構想したことを効果的かつ適切に説明したり、それらを基に議論したりする力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】歴史学習を通して、より良い世界の実現に向けて現代世界の諸問題を自ら主体的に解決しようとする姿勢を養う。また様々な学習を通して、日本や世界の歴史に対する深い知識と敬意、それに伴い自国と他国の文化を敬うことの大切さと素晴らしさについての自覚を涵養する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史に関する諸事象について、世界の歴史の多様性とその結果起こる対立等を理解する。文献・写真などを用いて、調査や諸資料から歴史に関する雑多な情報を適切に調べてまとめる技能を獲得するようにする。	歴史に関する諸事象の意味・意義、特色や相互の連関を文化や宗教との関係に着目して、概念などを活用し多面的・多角的に考察したり、現代の歴史的問題の解決に向けて、構想したりする力や、考察・構想したことを適切に説明したり、それらを土台として議論したりする能力を養う。	歴史に関する諸事象について、より良い世界の実現を視野に入れ、そこで見られる課題を主体的に追究し解決しようとする態度を育むと共に、多角的・多面的な考察や深い理解を通して生み出される日本人としての自覚、我が国の歴史に対する心からの愛情、世界の諸地域の多様で多彩な歴史を尊ぶことの大切さと素晴らしさについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A 単元 【知識及び技能】16世紀から18世紀のアジア・ヨーロッパについて、資料や本文から読み取り理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】16世紀から18世紀のアジア・ヨーロッパについて、それらの意義と現代社会との関わりについて考察し、見解を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】16世紀から18世紀のアジア・ヨーロッパが現代社会に与えた影響と課題について主体的に取り組ませる。	・指導事項 アジアのなかの江戸幕府・成熟する江戸社会・清の繁栄と結び付く東アジア・アジア、アメリカに向かうヨーロッパ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】アジアのなかの江戸幕府・成熟する江戸社会・清の繁栄と結び付く東アジア・アジア、アメリカに向かうヨーロッパが現代社会に与えた影響と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】アジアのなかの江戸幕府・成熟する江戸社会・清の繁栄と結び付く東アジア・アジア、アメリカに向かうヨーロッパの経緯と影響について考察し、見解を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】アジアのなかの江戸幕府・成熟する江戸社会・清の繁栄と結び付く東アジア・アジア、アメリカに向かうヨーロッパの経緯・影響と課題について主体的	○	○	○	12
定期考査（1学期中間）			○	○		1
A 単元 【知識及び技能】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命の経緯と影響について、資料や本文から読み取り理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命の経緯などから、それらの意義と現代社会との関わりについて考察し、見解を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命が現代社会に与えた影響と課題について主体的に取り組ませる。	・指導事項 イギリス革命とアメリカ独立・フランス革命・フランス革命の影響（ナポレオン登場） ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等	A 単元 【知識及び技能】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命が現代社会に与えた影響と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命の経緯と影響について考察し、見解を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命の経緯・影響と課題について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
定期考査（1学期期末）			○	○		1

2 学 期	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】産業革命・アメリカの領土拡大・帝国主義の経緯と影響について、資料や本文から読み取り理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】産業革命・アメリカの領土拡大・帝国主義の経緯などから、それらの意義と現代社会との関わりについて考察し、見解を表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】イギリス革命・アメリカ独立・フランス革命が現代社会に与えた影響と課題について主体的に取り組ませる。</p> <p>定期考査（2学期中間）</p>	<p>・指導事項</p> <p>産業革命・アメリカの拡大・帝国主義</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】産業革命・アメリカの領土拡大・帝国主義が現代社会に与えた影響と課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】産業革命・アメリカの領土拡大・帝国主義の経緯と影響について考察し、見解を表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】産業革命・アメリカの領土拡大・帝国主義の経緯と影響について、主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
	○	○			1		
2 学 期	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近の経緯と影響について、資料や本文から読み取り理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近の経緯などから、それらの意義と現代社会との関わりについて考察し、見解を表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近が現代社会に与えた影響と課題について主体的に取り組ませる。</p> <p>定期考査（2学期期末）</p>	<p>・指導事項</p> <p>西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近が現代社会に与えた影響と課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近の経緯と影響について考察し、見解を表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】西洋の衝撃、南・東南アジアの植民地化、ヨーロッパの日本接近の経緯と影響について、主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
	○	○			1		
3 学 期	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まりの経緯と影響について、資料や本文から読み取り理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まりの経緯などから、それらの意義と現代社会との関わりについて考察し、見解を表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まりが現代社会に与えた影響と課題について主体的に取り組ませる。</p> <p>定期考査（学年末）</p>	<p>・指導事項</p> <p>バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まり</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まりが現代社会に与えた影響と課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まりの経緯などから、それらの意義と現代社会との関わりについて考察し、見解を表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】バルカン半島の緊張・第一次世界大戦・ロシア革命・第二次世界大戦・戦後世界の始まりが現代社会に与えた影響と課題について、主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	17
	○	○			1		
				○	○		70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 社会科演習

教科：地理歴史 科目：社会科演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 H組～E組

使用教科書：（高等学校新公共（第一学習者）・わたしたちの地理総合（二宮書店）・明解 歴史総合（）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとしている。

科目 科目社会科演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 主に公民分野 【知識及び技能】 演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	現代社会の諸課題 【現代の民主政治】 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】 現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査（1学期中間）			○	○		1
	A 主に公民分野 【知識及び技能】 演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	現代社会の諸課題 【現代の経済社会】 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】 現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
定期考査（1学期期末）				○	○		1

2 学 期	A 主に歴史分野 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	現代の生活・文化と人間としての在り方生き方 【近現代の社会】 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
	定期考査 (2学期中間)			○	○		1
	A 主に地理分野 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	現代の日本と世界の地域的特色とその課題 【世界の地域構成】 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	12
定期考査 (2学期期末)			○	○		1	
3 学 期	A 総合 【知識及び技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸問題について、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり皆の合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力を養う。	全体のまとめ ・指導事項 演習問題 ・教材 授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】演習問題を通して現代社会の諸問題について、理解していると共に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる力が身に付いている。 【思考・判断・表現】現代の諸問題の解決に向けて、事実を基礎に概念等を活用し多面的・多角的に考察し、判断する力や合意形成や社会参加を視野に入れながら構想したことを議論する力が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を目指し、現代の諸問題を自ら主体的に解決しようとする力が身に付いている。	○	○	○	17
	定期考査 (学年末)			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 H 組 ~ E 組

使用教科書: (新編化学 数研出版)

教科 理科 単元の目標:

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 化学 の目標: 化学的な事物・現象について、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 化学的な課題を解決するための基本的な知識を身につける。 実験器具を安全・正確に扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身につけた知識を活用して、化学的な課題に取り組むことができる。 化学的な現象について知識を活用して、文章やモデル図等で表現できる。 実験結果を活用して、物質を区別したり、法則性を発見できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に粘り強く取り組むことができる。 課題や宿題を提出できるように自ら計画を立て、学習を進めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
1 学期	第2編 化学反応とエネルギー 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全・正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	1. 電池	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で用いられている金属の用途から、金属の陽イオンになりやすさを予想でき、検証実験で結果を確認できる。 金属と溶液の反応が起こるかイオン化列から予想でき、実験により確かめることができる。 電池をつくるための条件を実験結果から発見し、説明できる。 電池の起電力と正極、負極の関係を実験結果から発見し、説明できる。 さまざまな電池の仕組みを説明することができる。 実用電池の利点を電池のしくみから説明できる。 	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	第1編 物質の状態 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全・正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	2. 電気分解 第1章 固体の構造 1. 結晶とアモルファス 2. 金属結晶 第2章 物質の状態変化 1. 三態の変化とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 電気分解で陽極や陰極で生じる物質の規則性を実験結果から発見し、まとめることができる。 電気分解で陽極や陰極で生じる物質の物質量をファラデー定数を用いて求めることができる。 金属結晶の原子半径を誘導に基づいて導くことができる。 結晶とアモルファスの違いを結晶構造の違いから比較でき、説明できる。 	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
2 学期		第2章 物質の状態変化 2. 気液平衡と蒸気圧 第3章 気体 1. 気体の状態方程式 2. 混合気体の圧力 3. 実在気体	<ul style="list-style-type: none"> 気液平衡を粒子モデルで表現できる。 気体の状態方程式を活用して、揮発性物質や気体の分子量を求めることができる。 分圧の法則を活用して、水に溶けにくい気体の分子量を求めることができる。 実在気体を理想気体に近づけるための条件を説明することができる。 	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
		4章 溶液 1. 溶解とそのしくみ 2. 溶解度 3. 希薄溶液の性質 4. コロイド溶液	<ul style="list-style-type: none"> 希薄溶液の性質を粒子モデルを用いて説明できる。 希薄溶液が示す性質の法則性を実験結果から発見でき、その法則性を活用して分子量を求めることができる。 コロイド溶液の性質をコロイド粒子の特性から説明することができる。 	○	○	○	16 2
	期末考査			○	○		1
3 学期	第4編 有機化合物 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全・正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	第1章 有機化合物の分類と分析 1. 有機化合物の特徴と分類 2. 有機化合物の分析 第2章 有機化合物の分類と分析 1. 脂肪族炭化水素 2. 飽和炭化水素 2. 不飽和炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 1. アルコールとエーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の性質が官能基に由来していることがわかる。 元素分析によって、有機化合物の分子式を推定することができる。 メタンを他の物質と置換反応させたときにできる物質を構造式で示すことができる。 エチレン、アセチレンを他の物質と付加反応させたときにできる物質を構造式で示すことができる。 第一級アルコール、第二級アルコール、第三級アルコールを区別することができる。 第一級アルコール、第二級アルコール、第三級アルコールを酸化したときに生成する物質を構造式で示すことができる。 銀鏡反応、フェーリング反応、ヨードホルム反応を示す物質を判断することができる。 	○	○	○	6
				○	○	○	11
	学年末考査				○	○	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 組～組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔軟体操 ・基礎体力作り（短距離走、ボール投げ、中距離走） ・農芸体操（体操の体得）	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動に計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8
	B陸上 【知識及び技能】 自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができるようにする	・持久走（ワークシート作り、記録測定）	【知識・技能】 自己の体力に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組み、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができ、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	10
	C バasketボール 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バスケボール（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	10
	D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・水泳（クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定）	7+W24	○	○	○	6
	E 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4

	<p>F 種目選択 バドミントン・バレーボール・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p> <p>定期考査</p>	<p>・バドミントン・バレーボール・テニス・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	10
2 学 期	<p>A 水泳</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）</p>	<p>【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	6
	<p>B 縄跳び</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・縄跳び（各技能の習得）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	10
	<p>C 種目選択 バドミントン・バスケットボール・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・バドミントン・バスケットボール・テニス・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	11
	<p>D アルティメット</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・アルティメット（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	11
	<p>E ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・ソフトボール（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	11
	<p>F 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・講義 ・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

3 学 期	<p>B バスケットボール・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・バスケットボール（技能の習得と試合）</p> <p>・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	10
	<p>C 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる</p>	<p>・講義</p> <p>・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
							合計
							105
	定期考査						

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 選択テニス

教科: 保健体育 科目: 選択テニス 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 H組～ E組

使用教科書: (現代高等保健体育)

使用教材: (なし)

教科 保健体育 の目標:

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 選択テニス の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期 A テニス 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組み、互いに高めあうことができるようにする	・テニス (技能の習得と試合)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	34
	定期考査					
2 学 期 A テニス 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組み、互いに高めあうことができるようにする	・テニス (技能の習得と試合)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	34
	定期考査					
3 学 期 A テニス 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組み、互いに高めあうことができるようにする	・テニス (技能の習得と試合)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	7
	定期考査					
						合計
						70

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 学年 H組～E組

使用教科書：（Power On English Communication II）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて日常的、社会的な話題について外国語を理解したり表現しようとするすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の学習を通して海外の文化や人々の考えを理解し世界平和に貢献しようとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 基本的文法事項を理解し、その知識を利用して英文を理解することができる。 重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。 本文の内容を把握し簡単に説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、又、授業の予習、復習時に、課題プリントやノートを利用して、授業で学んだことをもとに思考を深め自己表現につなげることができる。（課題やノート提出を期限内に行うことができる。） 	<ul style="list-style-type: none"> 英語基礎力定着に不可欠な語彙力増強を目指して行う単語テストの勉強に主体的に取り組み、成果をあげることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	記 時 数
			聞	読	話 （ ） ）	話 （ ） ）	書					
1 学 期	Play Me, I'm yours Listeningストリートピアノがどのように設置されるか、聞き取ることができる。 Readingストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて読み取ることができる。 Speaking (Interaction)ストリートピアノについて話し合うことができる。 Speaking (Presentation)ストリートピアノについて発表することができる。 Writingストリートピアノの設置経緯について紹介文を書くことができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導 定期考査は中間・期末を行う									17	
	Vending Machines Listening自動販売機について発表を聞いて要点をとらえることができる。 Reading海外のウェブサイトから内容を読み取ることができる。 Speaking (Interaction)発表内容について、質疑応答することができる。 Speaking (Presentation)海外の自動販売機について発表できる。 Writing海外の自動販売機について原稿を書くことができる。										36	
2 学 期	New Banknotes Listening キャッシュレス社会についての会話を聞き取ることができる。 Reading新紙幣とキャッシュレス社会について読み取ることができる。 Speaking (Interaction)新紙幣とキャッシュレス社会について話し合うことができる。 Speaking (Presentation)キャッシュレス社会について発表できる。 Writingキャッシュレス社会について発表原稿を書ける。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導 定期考査は中間・期末を行う									40	
	Powdered Natto Solves a Global Problem Listening納豆パウダーがどのように汚水を浄化するのか聞き取ることができる。											
3 学 期	高校3年間のまとめ（復習）として、適切に四技能を発揮できる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通じた音声面の指導 定期考査は中間・期末を行う									24	
合計											105	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

使用教科書：（Big Dipper English Logic and Expression）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】英語でのコミュニケーションを支える手段としての基礎的な英文法、構文を学習する

【思考力、判断力、表現力等】自分の考え、意見を英文で伝えられるよう敵意利那表現方法を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】他とのコミュニケーションのために積極的に言語活動をする姿勢を培う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①英語でのコミュニケーションをとるのに十分な語彙と文法を身に着ける ②学習した表現方法を場面に応じて適切に使用できる。 ③文脈や話の内容が理解できる	①与えられたテーマに対して自分の意見が展開できる。 ②自分の考えや意見を適切な表現でできる。 ③自分の持っている知識を有効に使うことができる。	①会話の中に積極的に参加できる。 ②興味を持った点や疑問を持った点を発話して他に意見を求めることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A 単元 レッスン1、2 動詞をうまく使う 誰がをはつきりさせる	○					知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	6
	A 単元 レッスン3、4 名詞の数に気を付ける、肯定文、疑問文、否定文の理解	○					知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	A 単元 レッスン5、6 英語の時制を意識し動詞の形を学習する	○					知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	7
	A 単元 レッスン7、8 準動詞の使い方を学ぶ	○					知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	7
定期考査							○	○		1	
2 学 期	A 単元 レッスン9、10 比較級を使った表現を学ぶ						知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	14
	A 単元 レッスン11、12 関係詞を使った表現を学ぶ						知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	14
3 学 期	A 単元 レッスン13、14 文のつなげ方を学ぶ						知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	8
	A 単元 レッスン15、16 節について学ぶ						知識に関しては、目標とする学習事項の習得状況をテスト等で評価する。思考力に関しては生徒に書かせた文章や発表内容で評価する。姿勢に関しては授業への出席や、意見発表、発話に対しての積極性を見て評価する。	○	○	○	6
										合 計	70

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科: 家庭

科目: 家庭総合

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 H 組 ~ E 組

使用教科書: (家庭総合 自立・共生・創造 東京書籍)

教科 家庭科

の目標:

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ささまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【第4章 高齢者とかかわる】 ・高齢者の心身の特徴や生活、介護をめぐる課題について理解する。 ・日常生活を手助けできる介助の技術を身につける。 ・生活の中でよりよく暮らすための解決方法を考えることができる。	○高齢社会に生きる ・これまでの高齢者との関わりを振り返る ・高齢社会の現状を知り、身近な問題として捉える ○高齢者を知る ・高齢者の生活場면을体験する ・高齢者と家族とかかわり、経済、社会での活躍などを知り高齢者における生活の課題について考える。 ○高齢者の自立を支える ・要介護の高齢者との接し方を考える ○高齢社会を支えるしくみ	・高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集・分析し、自分の考えをまとめることができる ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわるうとしている ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している	○	○	○	14
	【第10章 経済的に自立する】 ・家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気付く ・家庭の収入や支出、予算、生活の必要性について理解する。 ・生活設計と関わらせ、長期の経済設計の必要性について理解する。	○暮らしと経済 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ ・適切な家計管理について考える。 ○将来のライフプランニング ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について	・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる ・短期、長期的の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	【第3章 子どもと関わる】 ・育児を学ぶ意義について理解する。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解する。	・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 ・職業労働、家事労働について、グループで話し合い意見を発表する。	・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い出しながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもと関わりながら、理解しようとする。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 ・子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	○	○	○	14
	【第6章 食生活をつくる】 ・食事の意義を理解する。 ・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 ・衛生と安全に配慮して調理することができるようになる	・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食事摂取基準、食品群別摂取量などを用い、家族の献立作成を行う。	・食事の意義や役割について、食文化や食生活を取り巻く環境から理解できる。 ・栄養、食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる ・現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	【第6章 食生活をつくる】 ・日本の食料自給率の現状を理解する。 ・情報に惑わされることなく、安全な食品を選択できるようになる ・食の安全と環境に配慮した食生活を送ることができるようになる	・食品の自給率や食に関する環境問題について考える。 ・環境に配慮した食生活(食品ロス)について考える。	・現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 家庭科 科目 家庭科演習

教科: 家庭 科目: 家庭科演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 H 組~ E 組

使用教科書: (家庭総合)

教科 家庭科

の目標:

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる専門的な技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する専門的な力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭科演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる専門的な技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する専門的な力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	【食生活をつくる】 ・食事の基本的な意義を理解させる。 ・家族、友人等集団での食事を共にすることの意義など、食事に関わる利点を再確認させる。 ・現代の食に関する問題点を把握させる。 ・健康維持のために食事がどのように大切かを理解させる。 ・各国の食料自給率を通して、日本における食料生産の問題点を考えさせる。 ・市場にあふれる食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。 ・地球環境の保全、生物連鎖と食生活との関わりについて理解し	○食事の意義と役割 1 からだをつくる食事 2 食生活を豊かにする食事 ○食をとりまく現状 1 栄養摂取の変化と現状 2 生活習慣病と欠食 3 ライフスタイルの変化 4 食料自給率と食品ロス 5 食品の安全性と環境の変化	・食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。 ・日本の食生活の現状について、問題点が理解できる。 ・現代の食生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。 ・グループ討議の結果をまとめ、パワーポイントなどでプレゼンすることができる。	○	○	○	12
	【食生活をつくる】 ・栄養バランス、年齢、性、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、日常食、行事食など用途に適した献立が作成できる。 ・これまで身につけた知識を調理にいかし、手際よくつくることができるようにする。 ・基礎的な題材から始めて、品数を増やしたり、工程が多いものに移行していくなど、段階的に調理	○献立作成 1 日常食の献立作成条件 2 日常食の献立作成の手順 3 供応食・行事食 4 テーマ設定と調理実習	・食事のテーマに応じた献立作成、食品材料の選択と調理など、一連の流れを計画し実践ができる。 ・具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。 ・作成した献立に適した食品を選択する事ができる。 ・食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境を判断することができる。 ・食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方、周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	【衣生活をつくる】 ・衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。 ・衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。	○衣生活をつくる 1 人と衣服のかかわり 2 衣服の素材の種類と特徴 3 衣服の選択から管理まで	・衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。 ・衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。	○	○	○	12
	【衣生活をつくる】 ・衣服をつくらう	○被服実習	・衣服製作実習を通して、材料の選択、日常の管理の方法を習得するとともに、基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の作成ができる。 ・完成した作品をしゅうなどを施すことにより、自分らしさを表現することができる。 ・作成した衣服の着装などにおいて、自分らしく表現できる。 ・衣服実習において、製作活動に意欲的にとらなれている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	【住生活をつくる】	○住生活をつくる ・人間と住まい ・住まいを計画する	・家族構成やライフステージなどのかかわりから、平面図を読み取ることができる。 ・住まいの文化や機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 生物文化 科目 馬術文化

教科: 生物文化 科目: 馬術文化 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 火曜日選択

使用教科書: (特になし。プリントなど随時。)

教科 生物文化 の目標:

【知識及び技能】 農業系の専門高校としての特色を活かし、植物や動物の育て方や生物に関する専門的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 生物の飼育や生命の活力に触れ、生命の尊さを理解するとともに、合理的且つ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 植物や動物の育て方や生物に関する専門的な知識・技術を自ら学び、新たな時代の持続可能な農業に向かって主体的且つ協働的に取り組み、思いやりのある心豊かな人間性を養う。

科目 馬術文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
馬の飼育方法や馬術競技の専門的な知識・技術とともに、馬術の文化的な意義を理解している。	馬の生理・生態的な特性と行動的な特性にあった飼育や、馬具などの扱い方、乗馬技術を適切に表現することができる。	馬の飼育方法や馬術競技を実践する際、他者と協力し、主体的・協働的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・馬を扱う際の安全、衛生、事故防止等の注意事項及び大型動物の飼育についての心構え、馬との触れ合いを通して生命尊重の態度を養う。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	2
	乗馬技術の習得	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・馬を知る:分類、品種、特性、動物介在活動、アニマルセラピーの効果を理解する。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	18
	飼育方法	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・馬の飼育や管理:餌の作り方・給餌方法、手入れの方法を習得する。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学期	馬の特徴	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・馬の飼育や管理:馬の身体的特徴を知る(知能、筋肉、骨格、内臓、病気、性格等)。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	4
	馬場馬術	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・馬場馬術の基本技術:馬の前進(並足・速足・駆足・停止)等の技術を駆使し、自らの意志で馬を操作できるようにする。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	6
	乗馬練習	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・障碍飛越の基本技術:低障碍を作り、自らの意志で馬を操作しながら障碍を飛び越えられるようにする。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	乗馬練習	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・応用技術:馬の乗り方・降り方、姿勢、推進・停止、並足・速足・駆足を応用した技術を習得する。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	6
	馬の飼育管理	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・馬の飼育や管理:蹄鉄技術の習得、馬が陥りやすい病気、怪我の予防方法などを知る。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	4
	地域貢献活動の基礎	・馬場実習(実技実習) ・座学 ・地域貢献活動の基礎:乗馬体験や飼育の実際等を生かして地域貢献活動のための心構えや基礎を身につける。	【知識・技能】単元の内容を理解し、馬の飼育方法や馬術競技など技術を身につけている。 【思考・判断・表現】単元の内容における課題を発見し、論理的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】単元の内容について主体的に取り組み、解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

